

# 幸齢者 応援のまち

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、高齢者を地域で支える体制づくり「地域包括ケアシステム」が必要となります。  
地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実のため、市及び各町に協議体を設置し、「生活支援体制整備事業」に取り組んでいます。  
その中で、活動拠点を開所された橘町の取り組みをご紹介します。

橘町 活動拠点

## みんなの家 橘

場所/  
橘公民館横 旧松尾商店  
(橘町大字片白8478番地1)  
開所日/  
週2日(火・金曜日) 10:00~13:00  
(年末年始・お盆・祝日は休所)



▲「みんなの家 橘」の外観



▲開所日は黄色の旗が目印



【和室・会議室】  
テレビや冷蔵庫、ポット等が設置されています。  
会議や友人同士のお茶会にご利用いただけます。



▲介護予防教室の様子

【介護予防教室:11/25開催】  
笑顔と笑い声でいっぱいでした。  
障がい者施設のお菓子の販売もあり、多くの方の交流の場となりました。

詳しくは 橘町まちづくり推進協議会事務局(橘公民館内)  
☎0954-22-3884

担当 健康課 たっしゅか係 ☎0954-23-9135

武雄市  
定住支援員  
コラム  
Vol.5

武雄市の定住支援員をご存じですか？武雄市への定住を希望する人に対して、相談や支援を行っています。6名の定住支援員を毎月ご紹介していきます。

武雄暮らしを楽しもう！

千綿 由美さん

私が住んでいる若木町は中山間地域です。生まれ育った山内町も同じような山間だったため、とてもほっとする環境です。お地蔵さんや神社のお祭りが残っていたり、隣近所で当番制の行事が続いていたりと、地域ごとに違いがあり、住民が自発的に大事にしたい所をPRするイベントを開催している地域もあります。まちなかに比べたら沢山の行事があり、不自由に感じることもあるかもしれませんが、コロナ禍を挟んで2度も大きな豪雨災害を経験した武雄市では、ご近所の助け合いや顔の見える繋がりを心強く感じたのではないかと思います。それを見える形にした地域包括システムも、今後地域の方々の参加によって動き出します。若者たちが住み続けたい、戻って暮らしたいと思える地域になるよう、今、武雄市で暮らしている私たちが様々な地域活動に参加したり、やりたいことにチャレンジしたりしながら、楽しんで暮らしている姿をどんどん発信していけたらいいですね！



### Information 空き家・空き地バンクをご存じですか？

▼空き家・空き地バンクとは？

空き家・空き地の有効活用をした所有者と、それを利用したい方が空き家・空き地バンクに登録し、双方合意のもとで空き家・空き地の活用をし、移住・定住の促進と地域活性化を図るものです。

「家」は人が住まないとどんどん傷んでしまいます。

大切な家を、必要としている誰かに大切に使用してもらいませんか？  
登録・ご相談お待ちしております。



詳しくは 建築住宅課 空き家対策係  
☎0954-23-9160